デザインプロセスを活用した持続可能な観光商品の開発及び質向上プロジェクトの実施について

ラオス北部不発弾汚染地域における Champayamyam Project

2022 年度 JICA 草の根技術協力事業（支援型）完了報告会

6/25（水）

16:00〜17:30

会場
長岡造形大学円形講義室
オンライン併用

参加方法
左の QR コード
による事前申し込み

申込締切
2025 年 6 月 23 日（月）
※オンライン参加者には 6 月 24 日（火）までにメールでリンクをご案内します。

長岡造形大学では、JICA 草の根事業として「使用者や購入者の視点から対象の問題を理解し、解決に導く」ことを重視する「デザインプロセス」を導入した観光商品の開発とその技術移転に取り組んできました。この報告会では、本プロジェクトのプロジェクト・マネージャー板垣順平（本学大学院准教授）、現地調整員として活動した三井琳世さん（当時本学大学院生）が事業の背景や成果、プロジェクトの過程で現地住民のみなさんに現れた変化についてご報告し、**デザイン×国際協力**の今後の可能性についても提言します。

板垣順平（長岡造形大学大学院造形研究科イノベーションデザイン領域）
デザイン思考やデザインプロセスをもとにした、ワークショップや研修、共同研究などに従事。当該プロジェクトのマネージャーとして従事。

三井琳世（株式会社ロフトワーク）
長岡造形大学大学院造形研究科修士課程イノベーションデザイン領域在学中に修士研究として当該プロジェクトに参画し、現地調整員や活動のコーディネートに従事。

【主催】独立行政法人国際協力機構（JICA）、長岡造形大学

【問い合わせ先】chiiki@nagaoka-id.ac.jp（地域協創課）